

## 調査目的等

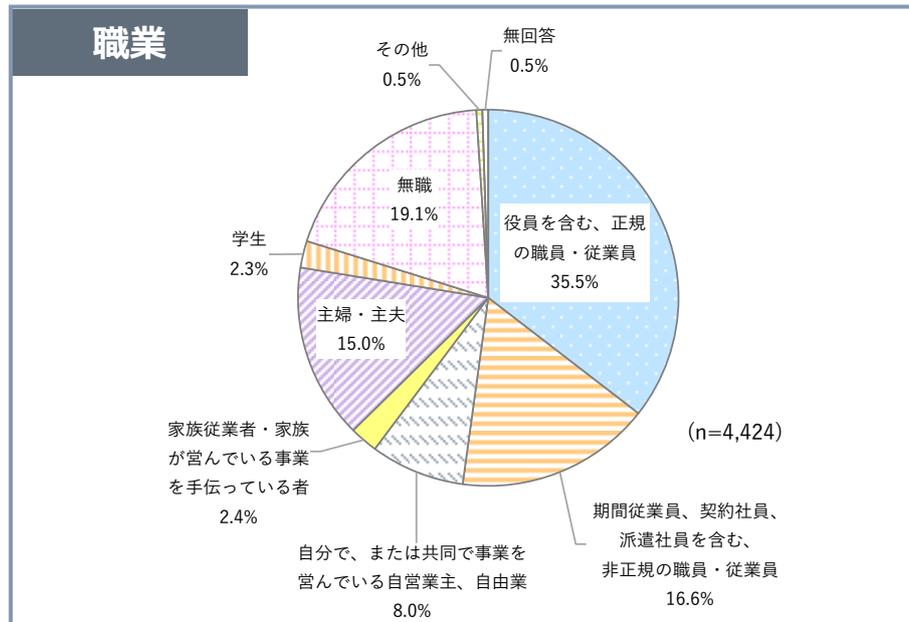
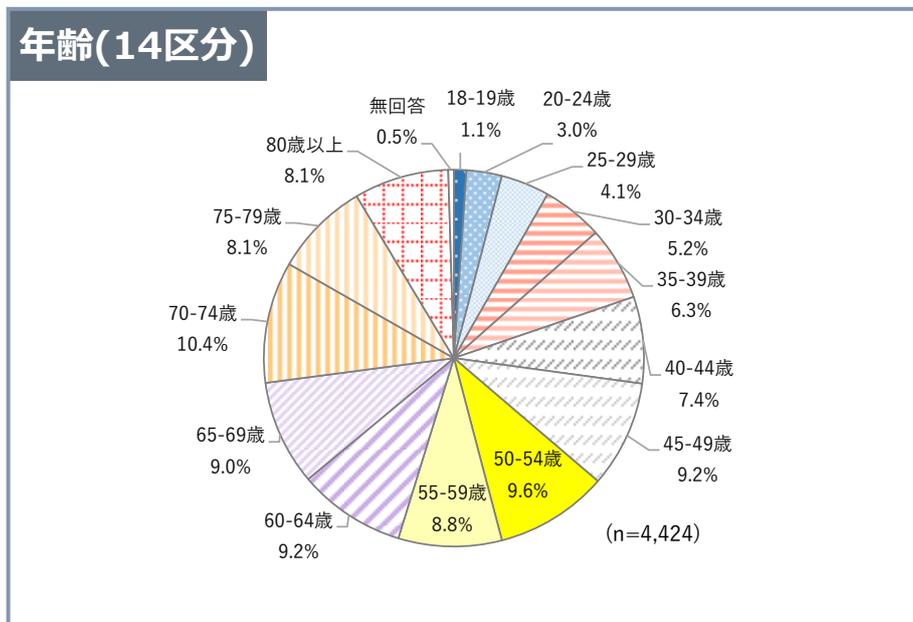
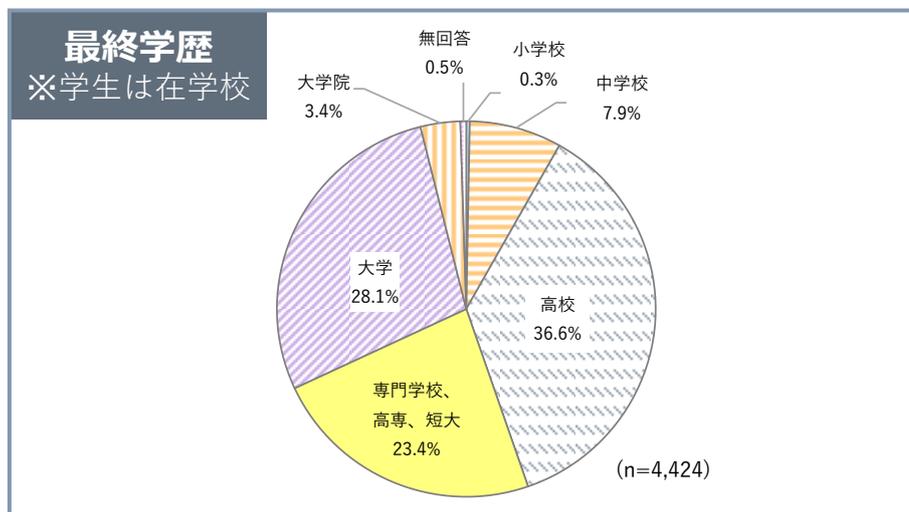
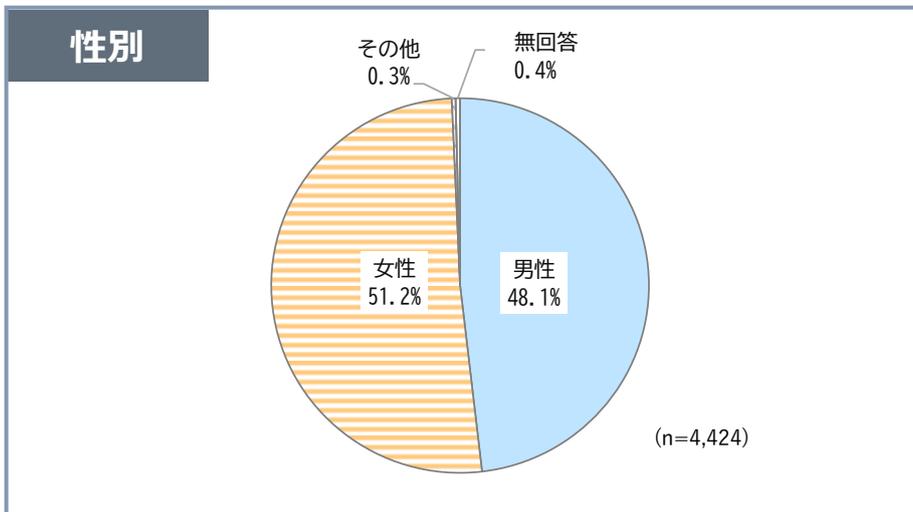
- 日本が目指すべき共生社会のビジョンや共生社会の実現に向けた施策に関する日本人の理解、考え方の実態を把握し、今後必要とされる共生施策の企画・立案・実施に活用することを目的に実施したもの。
  - より充実した調査となるよう、「外国人との共生に関する意識調査有識者会議」を開催し、調査項目の決定や調査結果のとりまとめ等について、外国人に関する共生施策や意識調査等に精通した有識者による、専門性、高い見識、広い視野を取り入れている。
- ⇒ 調査結果を基に外国人に関する共生施策の企画・立案・実施を行うことで、「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」及び「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」の充実を図り、政府全体で外国人との共生社会の実現を図っていく。

## 調査概要

調査対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本国籍を有する18歳以上の方 計10,000人</li> <li>※住民基本台帳から無作為抽出。</li> </ul>
有効回収数等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 配布数：10,000件（うち未着分：100件）</li> <li>■ 有効回収数：4,424件（郵送回答：2,775票／Web回答：1,649票）</li> <li>■ 有効回収率：44.7%（郵送回答：28.0%／Web回答：16.7%）</li> </ul>
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 郵送配布－郵送/Web併用回収（対象者に紙の調査票及び二次元コード付の協力依頼状を郵送）</li> <li>※郵送回収：紙の調査票に直接書き込み回答してもらう形式</li> <li>Web回収：二次元コードを読み込んで、インターネット上でアンケートに回答してもらう形式</li> </ul>
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本が目指すべき共生社会のビジョンや共生社会の実現に向けた施策に関する日本人の理解、考え方の実態を把握するため、以下の項目を調査。 外国人との関わり（付き合いの有無、交流頻度、外国人増加への考え等）、差別や偏見（外国人への偏見や差別の有無、偏見や差別をなくすために必要と思う取組等）、外国人との共生社会（三つのビジョン、共生社会実現のためできること、受入れ環境整備等）等</li> </ul>
調査期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 令和5年10月17日～同年11月30日</li> </ul>
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本件調査結果は、アンケートに対して得られた回答をそのまま集計・掲載したものであり、一部の結果では回答数が限られるため、その解釈に留意が必要である。</li> <li>■ 数値は四捨五入して表示しており、%を足し合わせて100.0%にならない場合がある。</li> </ul>

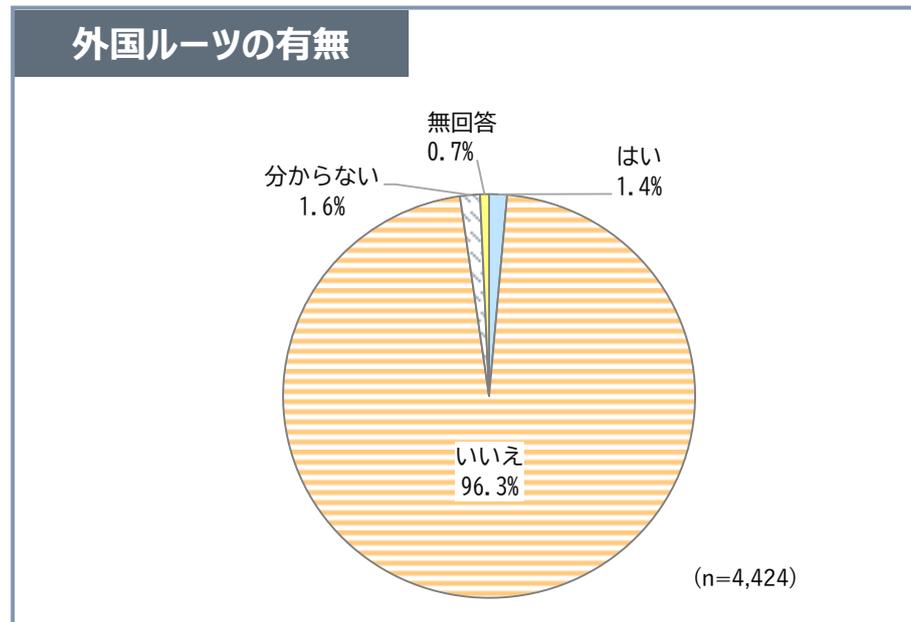
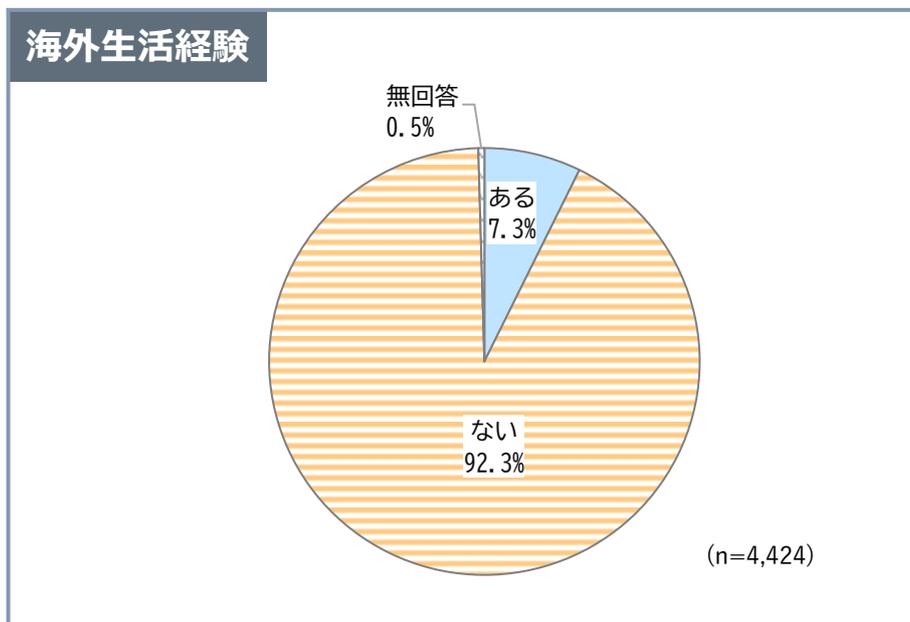
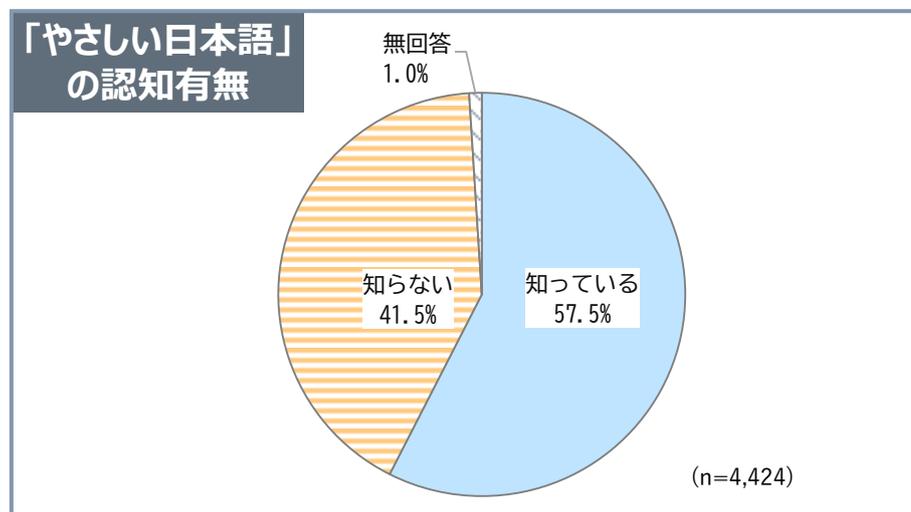
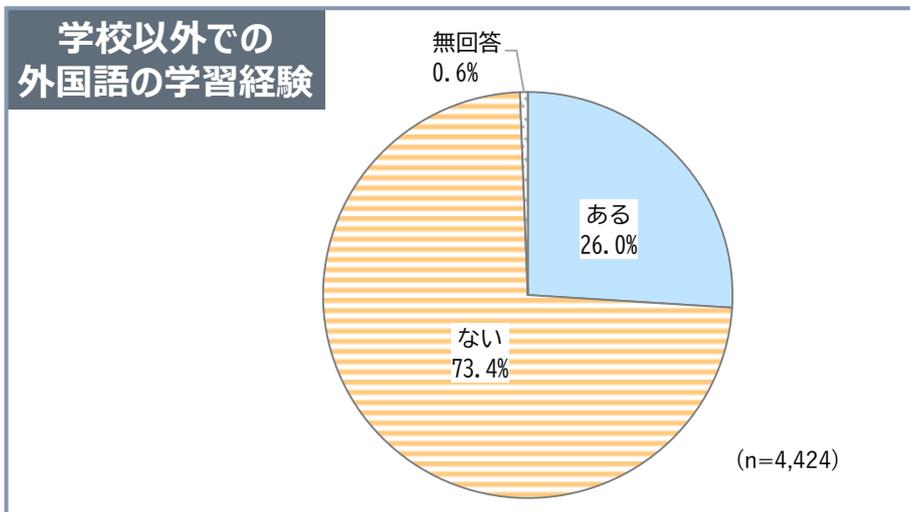
# 外国人との共生に関する意識調査（日本人対象） - 主な結果①（回答者の属性） -

- 回答者の性別は「男性」48.1%、「女性」51.2%となっている。
- 回答者の年齢を14区分で見ると、「70-74歳」が10.4%と最も多く、65歳以上が35.6%を占める。
- 回答者の最終学歴は、「高校」36.6%、「大学」28.1%、「専門学校、高専、短大」23.4%の順に多い。
- 回答者の職業は「正規の職員・従業員」35.5%、「無職」19.1%、「非正規の職員・従業員」16.6%の順に多い。



# 外国人との共生に関する意識調査（日本人対象） - 主な結果②（外国との関わり等） -

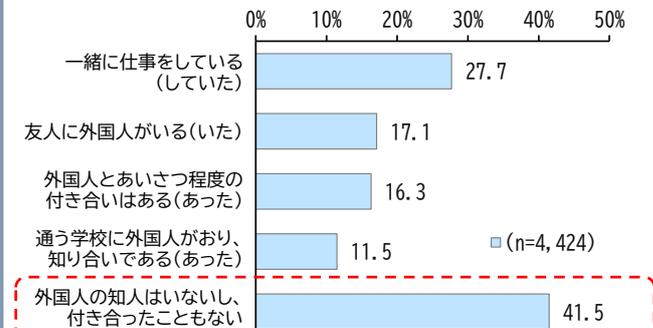
- 学校以外での外国語の学習経験が「ある」は26.0%、「ない」が73.4%となっている。
- これまで海外で連続して3か月以上の生活経験が「ある」は7.3%、「ない」が92.3%となっている。
- 「やさしい日本語」を「知っている」は57.5%、「知らない」は41.5%となっている。
- 外国にルーツ（\*祖父母、父母、自分自身のいずれかが、海外出身の方）を持っているか聞いたところ、「はい」が1.4%、「いいえ」は96.3%であった。



- 外国人との付き合いの有無は、「外国人の知人はいないし、付き合いしたこともない」が41.5%と最も高い。付き合いがある人の中では、「一緒に仕事をしている（していた）」が27.7%と最も高い。
- 外国人との付き合いがない理由は、「付き合う場やきっかけがないから」が73.5%と特に高い。
- 普段の生活で外国人と交流する頻度が《ある》は26.5%、《ない》は73.0%となっている。
- 誰かを外国人と認識する場合、重視する点は、「日本語能力のつたなさ」が44.6%で最も高く、「見た目、身体的特徴」（39.6%）、「日本社会、文化への理解不足」（37.7%）、「国籍」（34.3%）が3割台で続いている。
- 外国人労働者に求めるものとして重要なものとしては、「日本語能力」（60.8%）、「日本文化に対する理解」（59.4%）の2項目が6割前後で高い。

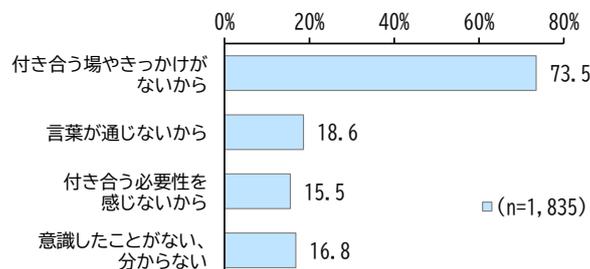
## 外国人との付き合いの有無

※上位4項目+外国人の知人はいないし、付き合いしたこともない

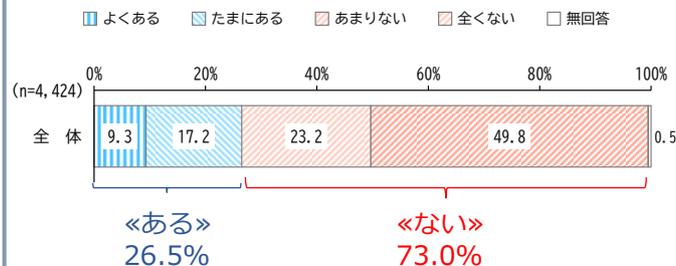


## 外国人との付き合いがない理由

※上位3項目+意識したことがない、分からない

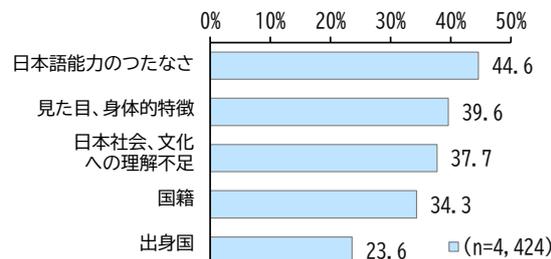


## 外国人との交流頻度

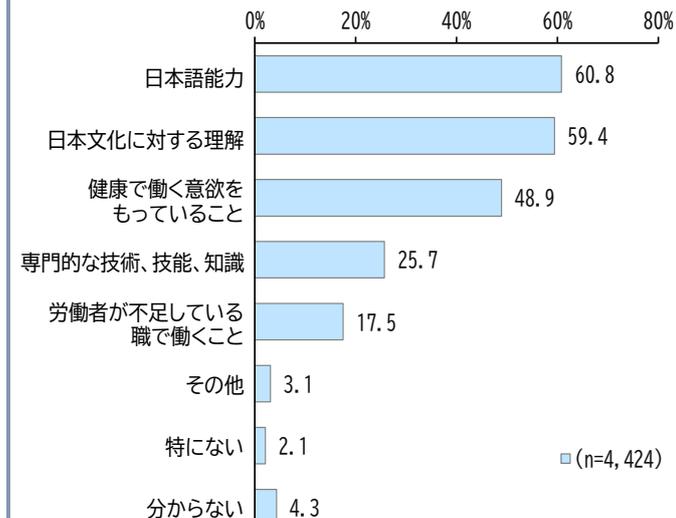


## 外国人と認識する点

※上位5項目

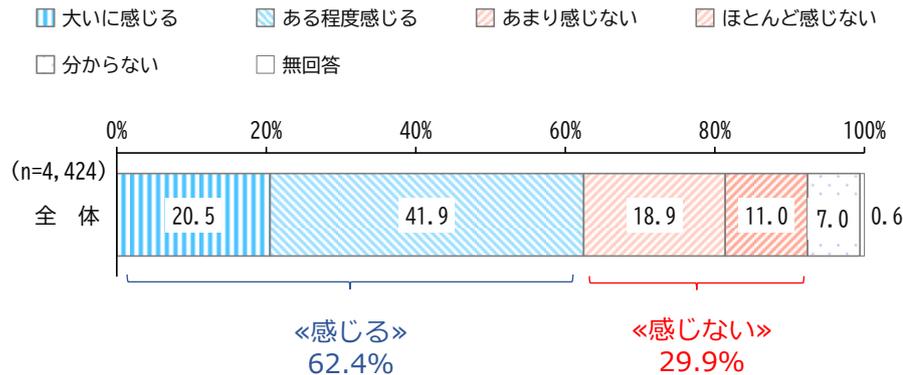


## 外国人労働者に求めるもの

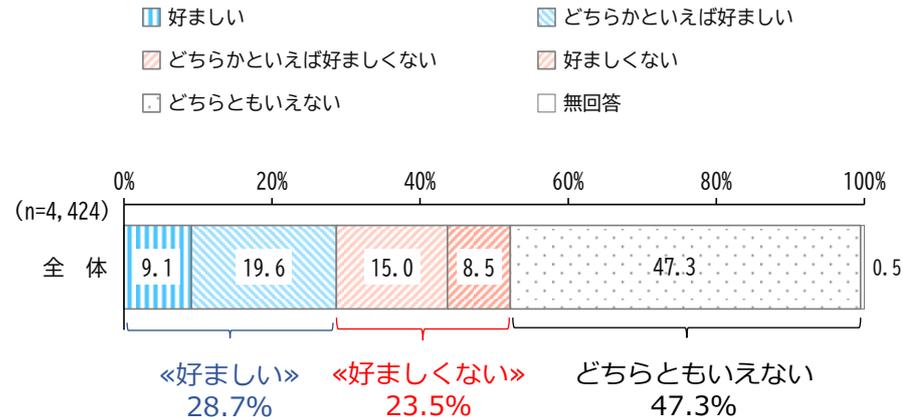


- 最近、身の回りに働いている外国人が増加してきていることを《感じる》は62.4%、《感じない》は29.9%となっており、増えていることを感じている人が多い。
- 地域社会に外国人が増えることについては《好ましい》は28.7%、《好ましくない》は23.5%、「どちらともいえない」は47.3%となっている。
- 外国人が増加することについての考えは、「**⑫日本人の働き先や仕事が減る**」「**⑬少子高齢化を部分的に緩和できる**」「**⑭日本の文化が変わる**」では《**そう思う**》が多くなっているが、「**⑫日本人の働き先や仕事が減る**」「**⑬少子高齢化を部分的に緩和できる**」「**⑭日本の文化が変わる**」では《**そう思わない**》が高くなっている。

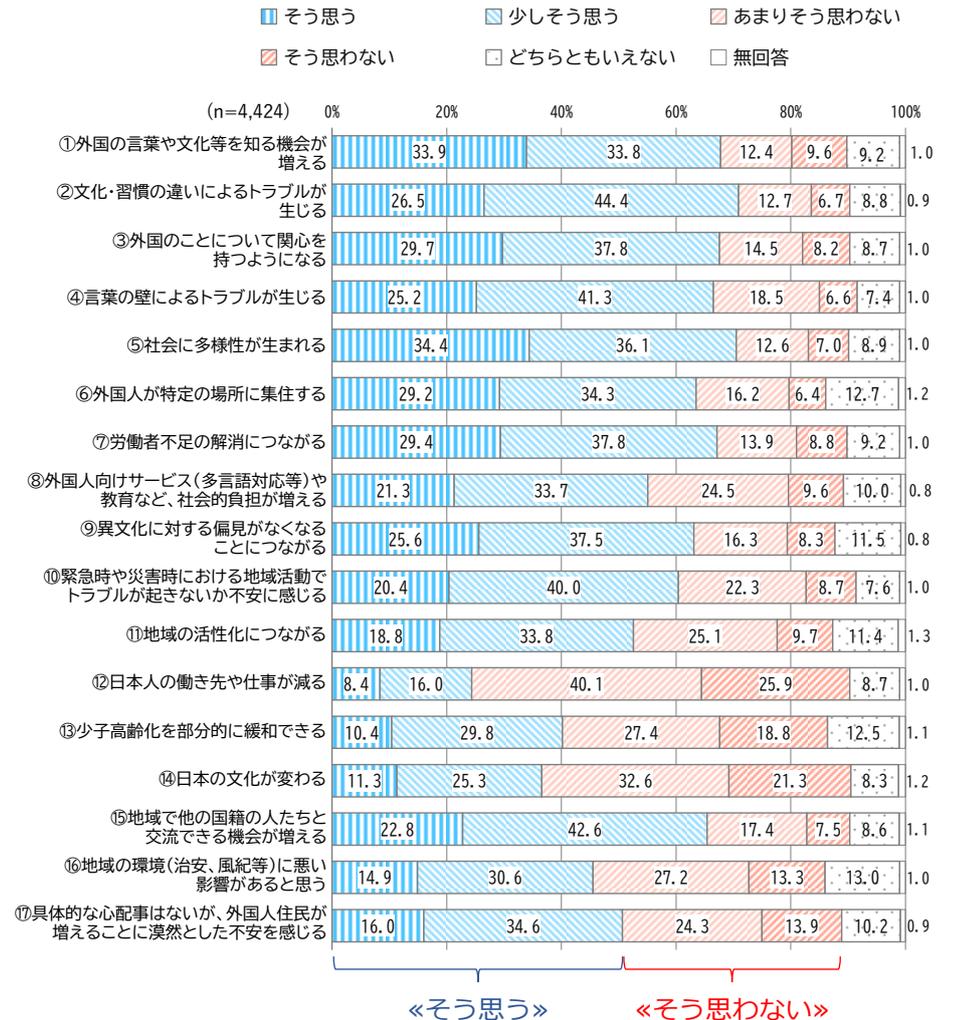
## 働く外国人は増えたと思うか



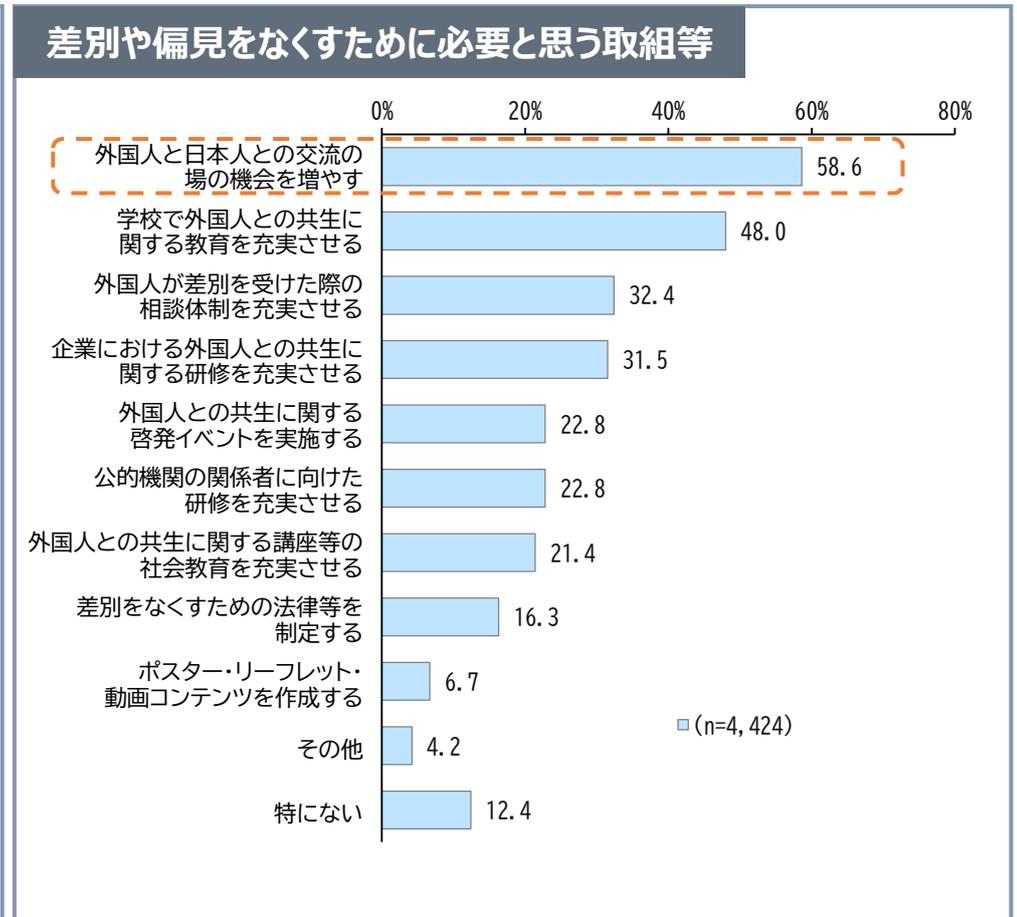
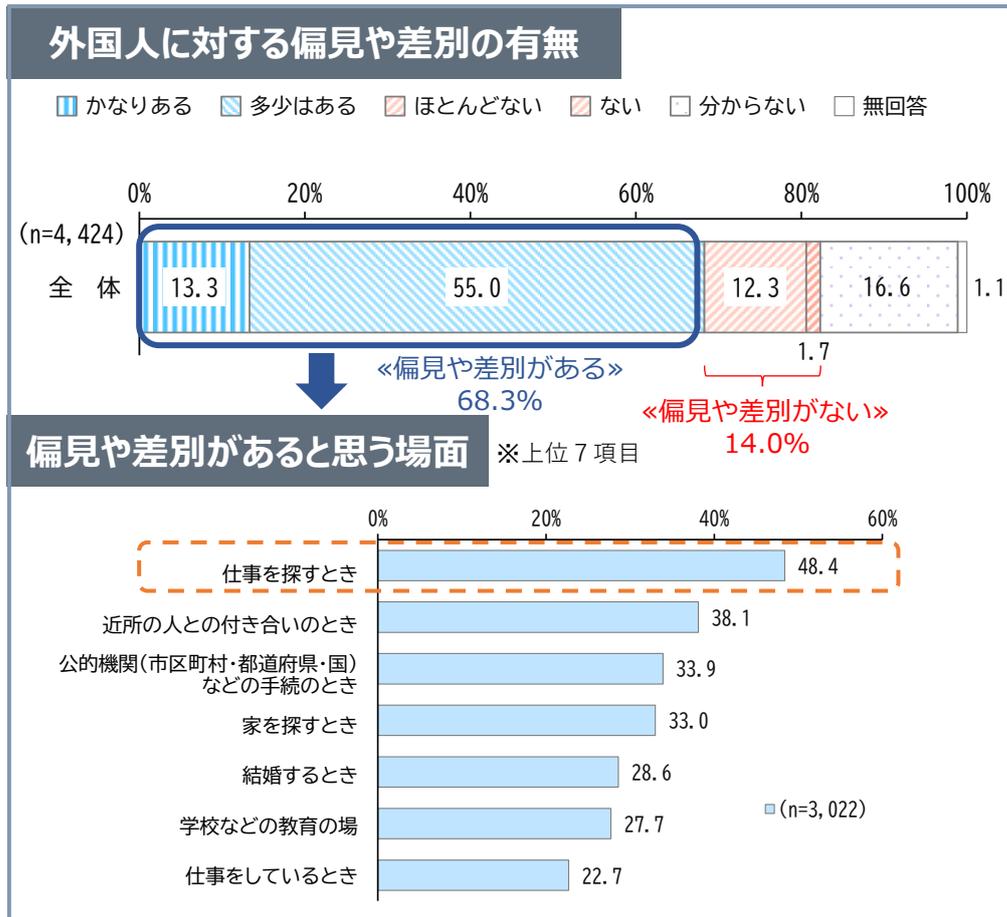
## 地域社会に外国人が増えることに対する感情



## 外国人が増加することについての考え



- （日本人からみた）外国人に対する偏見や差別の有無は、「ある」は68.3%、「ない」は14.0%となっており、偏見や差別があると思う人が多くなっている。
- 偏見や差別があると思う場面は、「仕事を探すとき」が48.4%で最も高く、以下、「近所の人との付き合いのとき」（38.1%）、「公的機関（市区町村・都道府県・国）などの手続きのとき」（33.9%）、「家を探すとき」（33.0%）が3割台となっている。
- 偏見や差別をなくし、人権を守るためにあると思う取組や活動は、「外国人と日本人との交流の場の機会を増やす」が58.6%で最も高く、以下、「学校で外国人との共生に関する教育を充実させる」が48.0%、「外国人が差別を受けた際の相談体制を充実させる」（32.4%）、「企業における外国人との共生に関する研修を充実させる」（31.5%）が3割台で続いている。



- 国が掲げている三つのビジョンについては、「良いと思う」がいずれも8割台であり、一定の評価が得られている。
- 共生社会実現のため、外国人にしてほしいことでは、「日本の習慣、生活ルールを守るようにする」が77.5%で最も高くなっている。
- 一方、自分ができることでは、「外国人に対する差別意識を持たないようにする」が66.2%で最も高い。
- 外国人を受け入れる環境整備の現状は、「進んでいない」が41.7%となり、進んでいないと思う部分は、「外国人材を受け入れる企業等の環境整備」などが5割台となっている。

## 三つのビジョンについて

### 目指すべき外国人との共生社会（三つのビジョン）

#### 安全・安心な社会

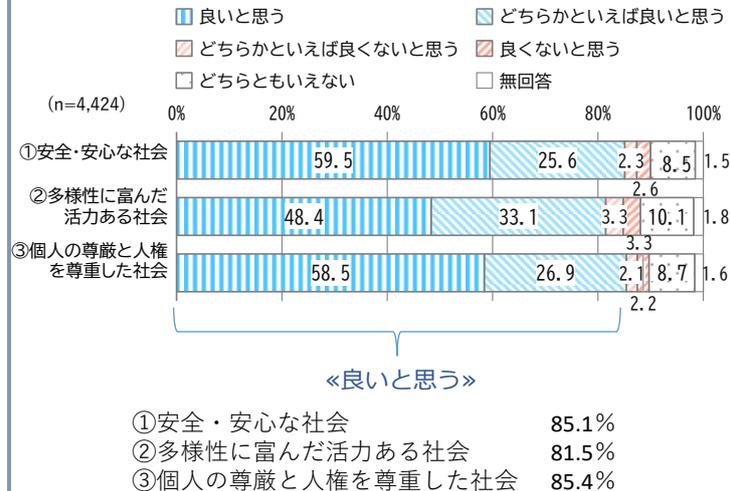
これからの日本社会を共に  
つくる一員として外国人  
人が包摂され、全ての人  
が安全に安心して暮らす  
ことができる社会

#### 多様性に富んだ 活力ある社会

様々な背景を持つ外国人  
を含む全ての人々が社会に  
参加し、能力を最大限に  
発揮できる、多様性に富  
んだ活力ある社会

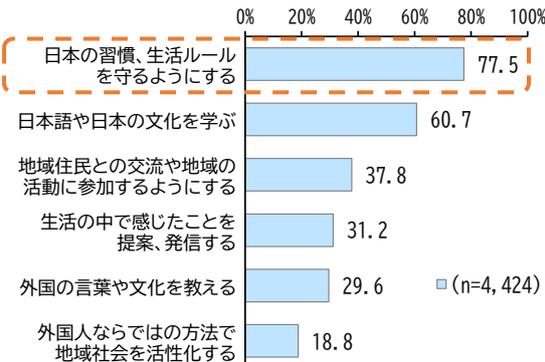
#### 個人の尊厳と人権 を尊重した社会

外国人を含め、全ての人  
がお互いに個人の尊厳と  
人権を尊重し、差別や偏  
見なく暮らすことができ  
る社会



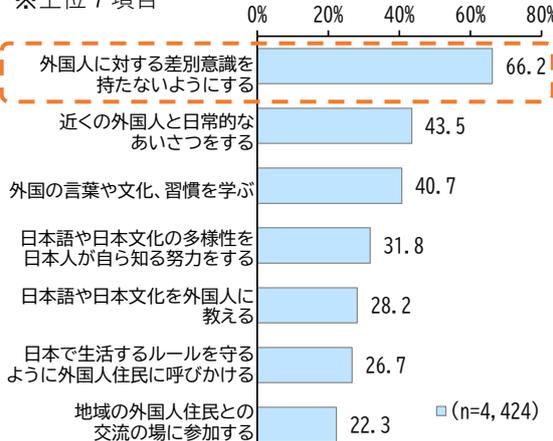
## 共生社会実現のために外国人にしてほしいこと

※上位6項目

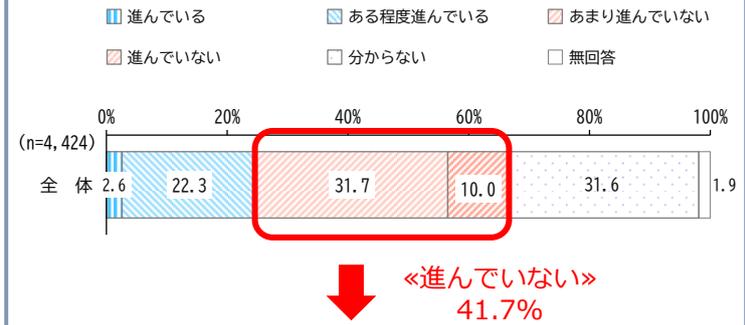


## 共生社会実現のため自分ができること

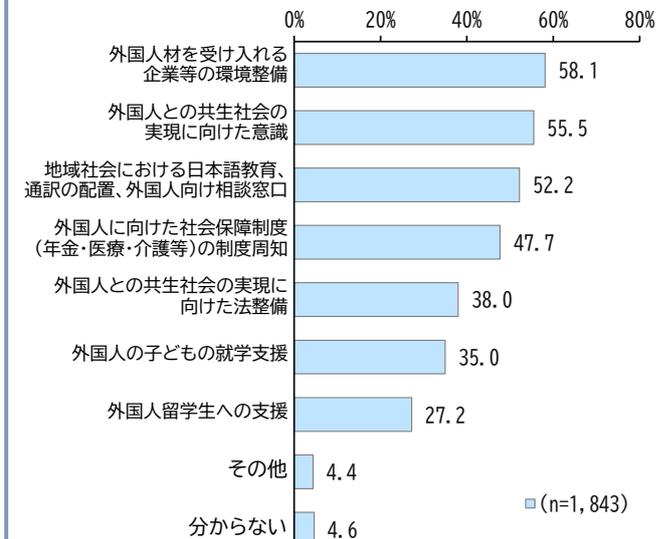
※上位7項目



## 外国人の受入れ環境整備



## 受入れ環境整備が進んでいないと思う部分



■ 本調査では、調査に関して自由記述で回答する問を設けた。寄せられた意見（1,163件）はQ13（地域社会に外国人が増えることに対する感情）の回答を基に分類した。以下、代表的な意見をいくつか参考に掲載する。

**※掲載している意見は、回答者の意見をあくまでも一つの意見として掲載しているものであり、必ずしも全ての意見が事実に基づいているものとは限らない。**

## Q13で《好ましい》と回答した方の意見（315件）

### ① 外国人との共生について

- ・国境を越えた国際的な人的関係は既に始まっている。単一国家のみでは許されずグローバルな交流・共生が求められると思う。
- ・日本の国力を上げる為には他人種を受け入れる多様性を認める事が重要である。

### ② 外国人の受入れ環境の整備について

- ・外国籍の方やその子どもたちが、よりよく生活できるためには、人的サポートは欠かせないと思います。
- ・専門的な知識や技能を持った外国人が過ごしやすい環境であってほしい。単に不足する労働力を補うだけではやめてほしい。

### ③ 仕事について

- ・受け入れは進んでいると思うが、その後の各所の対応に課題があると思う。周囲に馴染まずに、すぐ仕事を辞めてしまう外国人もいる。
- ・外国の方にとって、日本で働きたくなるような魅力的な国にならないと、働きに来てもらえないのでは？と危惧しています。

### ④ 差別・偏見について

- ・日本はまだ外国人に対しての偏見が多いように感じます。それは日常的に外国の方と関わる機会が少ないからだと思います。交流できる場を作ることが大事かと思います。
- ・私の職業では外国人を受け入れることがとても大事なため、偏見等はありません。（公立学校）A E Tの外国語の先生もいて、子どもたちとの関係も良好です。クラスにも外国人の子がいます。1人1人の日本人の認識がとても重要で、温かくむかえる気持ちがあればと思います。

### ⑤ 外国人には日本のルール、習慣等を学んでもらいたい

- ・外国人の方が日本に来る前に、日本語・日本の習慣を知った上で専門的なスキルを身に付けてほしい。
- ・日本社会の中で外国の人と共生していくには、外国の人にはまず日本語教育だと思います。そして日本人も外国語の習得や文化・習慣などに理解を深めるべき。お互いが学習しないといけないと感じます。

### ⑥ 外国人との交流について

- ・外国人と接したいと思いますが、なかなか機会がない。接する場はもっと宣伝して欲しい。
- ・外国の方との交流は素敵だと思うが、学生の時の学校にいる外国の先生との交流とは違って、社会においてはハードルが高いと感じている。自分から話しかけるには勇気が必要だ。

### ⑦ 治安悪化への懸念

- ・外国人が犯罪を犯すニュースを見てもどうしても偏見が生じてしまいます。
- ・文化、習慣の違いによるトラブルが考えられるので、外国人向け相談場所の設置、治安維持の為の対策（警官の増員 他）が必要。

### ⑧ 身近に外国人がおらず、分からない

- ・住居が山間部で外国人を見かける事は全くない。
- ・身近に外国人がいらないから実感がない。

### ⑨ その他

- ・今後もこのような調査を継続して行って欲しい。日本人の意識改革につながると思う。
- ・外国人だからと差別することなく平和な社会になってほしいと願っています。

## Q13で《好ましくない》と回答した方の意見（370件）

- ①外国人の受入れ等に抵抗・不安がある
  - ・安易な外国人の受入れに抵抗がある。
  - ・身近な外国人はあまりルールを守る人ではない方が住んでいるので、不安がある。
- ②治安悪化への懸念
  - ・労働力として外国人が必要かもしれないがあまり入ってくると治安が心配である。
  - ・日本のマナーを守れる人なら問題はないと思う。治安の悪化だけが不安に思う。
- ③日本人への支援等を厚くするべき
  - ・共生社会も大事だが、その前に自分の生活を維持して行くのが大変です。
  - ・日本国民の賃金上げや子育て支援、学力向上、教育支援に力を入れてほしい。
  - ・外国人を増やすことよりも日本人の人口が増えるような政策を取るべき。
- ④外国人には日本のルール、習慣等を学んでもらいたい
  - ・外国人の方々には日本の法律を勉強してもらい、そしてマナーを順守してもらいたいです。
  - ・まずは日本語を学んだうえで、自分から日本の社会に馴染む姿勢が大事だと思う。
  - ・共生するためには、大前提としてその国のルールや文化を守ることからだと思う。
  - ・外国人には地域のルールを守ってもらえるよう、住所登録をする際には書類や、口頭での説明をして、理解してもらえるように努力してもらえたらと思います。
- ⑤外国人との共生について
  - ・外国人との共生については基本的に賛成できません。しかしながら、昔の入管法のように限定的に高度な知識、技術を持つ外国人を受け入れ続けることは必要です。そういった外国人と共生していくことは重要だと思います。
  - ・報道で外国人の犯罪を見る事が多く不安を感じます。知識豊かな向上心高い外国人は大いに共生できると思います。
  - ・昨今、外国人の犯罪について報道されています。一部の外国人によるものかとは思いますが、不法滞在等の法令遵守がされない中では共生は難しいと思います。
  - ・現在日本に居住している外国人の、国民年金や社会保険料等の公共料金の未払いは納得できません。
- ⑥差別・偏見について
  - ・時節に応じた良い調査だと思います。今現在私は高校教育を受けていますが、日本人・外国人に対する潜在的な差別・偏見をなくすには教育の場での啓発が重要だと考えます。
  - ・外国人であろうが、日本人であろうが、互いを思いやる気持ちを持っていれば、トラブルも少なくなると思うので、根本的に人としての対応力だと思います。全ての人が、住みやすい社会になればと願います。
- ⑦その他
  - ・色々な制度について知らない事が多いなと感じました。この調査でもっと良い社会になる動きが少しでも進めば良いなと思います。
  - ・日本に外国人の方が移住する際に外国人が日本のルール、マナー等を守る事ももちろん必要と思いますが、日本人側も外国人に対する否定的、閉鎖的な考えを改めていかなければいけないと思います。でも大人が考えを変える事はなかなかむずかしいです。子どもの頃から学校で外国人との共生について学ぶ機会が増えたら、時間はかかるけれども良い方向に向かうのかなと思いました。
  - ・外国人が増えていることを近年感じる機会が増えてきています。良いこととは思いますが、一方で、日本の古き良き風習が忘れられ、外国の方の勢いにおされつつあることに、不安を感じる事もあります。このアンケートに回答する事で、あらためて、考える事ができました。
  - ・外国人と言っても欧米、南米、東南アジア、東アジア、西アジアやその人それぞれで違い、外国人一括りの回答は難しい。

## Q13で《どちらともいえない》と回答した方の意見（478件）

- ① 身近に外国人がおらず、分からない
  - ・外国人に接する機会がないので質問の賛否に答えにくい。
  - ・身近に外国人がいる前提みたいな質問が多いと思う。自分の周りには外国の方はいないので回答に困る部分もあった。
- ② 日本の外国人に関する社会制度、教育について
  - ・外国人の労働条件の改善と遵守。
  - ・外国人受け入れについては、安い労働力として多く来ていただくのではなく、日本人と同等と考え、お互いを知り合う関係を築けるようにしたい。
- ③ 外国人との共生について
  - ・将来日本人口が減っていくのでもっと外国人を受け入れるべき。日本を愛する人はたくさんいると思う。
  - ・将来人口減少により働き手が（外国人も）必要となるでしょう。その時は出来る限り協力、仲良くしていきたいと考えています。
  - ・日本人側も外国人側も歩み寄る必要があると思う。但し、外国人本人らが望まないのに周りがやり過ぎるのは良くないと思う。
- ④ 外国人の受入れ環境整備について
  - ・外国人の就学・就業支援は必要だと思います。
  - ・取り組むことは良いことで、徐々に進歩していると思います。ですが、まだまだ発展途上です。「ある程度進んでいる」で満足するのではなく、より良い環境、より良い日本を目指しましょう。一人でも多くの人（国籍問わず）が、前向きに笑って過ごせる国は魅力的だと思います。
- ⑤ 外国人との交流について
  - ・自身のことだと、外国人だからどうということなく日本人同士でも「交流の場」というものが苦手だから、場を設けるより、自然におとなりさんとの交流みたいな感じでしか交流できないと思う。
  - ・これを機に外国人の方との交流の機会があれば、交流してみようと思いました。
- ⑥ 外国人には日本のルール、習慣等を学んでもらいたい
  - ・ごみの出し方、タバコの吸い方、ルールを守って頂きたいと思います。
  - ・一口に外国人と言っても様々な生育歴、出身国の社会情勢等の背景を持っているので、新しい日本での生活を送るに際して、日常生活で困らない程度の会話、コミュニケーション能力を持ち、近隣の日本人住民との意思疎通が出来るようにする必要があると思われる。生活習慣、特に宗教に根差したものは、相互に理解していく必要性を強く感じる。
- ⑦ 日本人への支援等を厚くするべき
  - ・外国人のサポートも良いが、まず日本国民へのサポート、子供達のサポートが優先だと思う。
  - ・外国人の共生は歓迎しますが、生活保護や、学費の免除など、日本の学生の学費の免除を優先してあげて欲しいと思います。
- ⑧ 差別・偏見について
  - ・外国人も、日本人も同じ人間なので差別や偏見のない日本でありたい！
  - ・全ての国の人に対して、皆が習慣の違いを理解し、偏見を持たないことが重要だと思います。
- ⑨ その他
  - ・“外国人”という事で、構えすぎている点が多いと思います。まず、“一人の人間”というところから入っていく方が、力が入らず、すんなりといくのでは？壁を越えてからお互いの事、学んでからでも遅くないと（職場では）感じる事、多いです。
  - ・この調査は、日本社会における現状の調査と未来への共生への調査かと思います。どこの社会であってもお互いに人として、尊重できれば…と考えます。
  - ・外国人とコミュニケーションをとる際「やさしい日本語」などの相手が理解しやすい言葉を使うよう心掛ける。